

令和4年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和4年12月実施、教職員：令和5年2月実施]	学校評価委員会からの意見																													
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、遅刻せずに登校している。(中学 肯定率 92.3%。昨年度より 3.7%増。) ・ 私は、学校の自習室をよく利用している。(高校 肯定率 40.4%。昨年度より 3.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、予習や復習をして授業を受けている。(中学 肯定率 52.3%。昨年度より 10.8%減。) ・ 私は、進路について目標を持って毎日の学習に取り組んでいる。(中学 肯定率 63.7%。昨年度より 7.3%減。) ・ 私は、学校の図書館をよく利用している。(中学 肯定率 22.7%。昨年度より 6.0%減。) ・ 私のクラスに来る先生は、宿題や課題をよく出す。(高校 肯定率 89.8%。昨年度より 5.7%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が参加する行事の数は適切である。(中学 肯定率 95.6%。昨年度より 3.0%増。高校 肯定率 89.1%。昨年度より 6.3%増。) ・ クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行われている。(高校 肯定率 86.6%。昨年度より 3.8%増。) ・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。(高校 肯定率 89.4%。昨年度より 3.8%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供は、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(中学 肯定率 72.1%。昨年度より 7.6%減。) ・ 子供は、この学校の授業は分かりやすいと言っている。(中学 肯定率 78.7%。昨年度より 6.4%減。) ・ この学校は活気があり、生徒が生き生きとしている。(高校 肯定率 75.8%。昨年度より 6.5%減。) 	<p>令和5年5月20日に学校評価委員会を開催。</p> <table border="1" data-bbox="947 1507 1633 1745"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肯定評価</th> <th colspan="2">中学</th> <th colspan="2">高校</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>35項目</td> <td>27項目</td> <td>35項目</td> <td>26項目</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>3項目</td> <td>10項目</td> <td>3項目</td> <td>7項目</td> </tr> <tr> <td>昨年度から増加</td> <td>13項目</td> <td>6項目</td> <td>12項目</td> <td>11項目</td> </tr> <tr> <td>5年前から増加</td> <td>22項目</td> <td>17項目</td> <td>29項目</td> <td>19項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒・保護者とも、多くの項目で前年度より肯定評価が減少しているが、5年前と比較すると逆に多くの項目で肯定評価が増加している。しかし、肯定評価 90%以上の項目が中学生徒・高校生徒とも3項目のみであり、まだまだ肯定評価を得られるような取り組みが求められる。</p> <p>学校生活の充実の項目の肯定評価は、中学・高校とも5年前からは5%ほど増加し、この2年は80%を超えた。しかし、予習・復習の項目では昨年度より肯定評価が減少し、特に中学では10.8%も減少した。中学ではどの学年も肯定評価が50%台にとどまっており、早急な改善が求められる。</p> <p>クラブ活動については、この5年間で中高とも、生徒・保護者とも肯定評価が増加している。「週3日まで」「休日は練習なし」「高2で引退」という先進的なシステムが評価を高めてきたと言える。</p> <p>中学生徒の給食についての肯定率は、5年前 33.6% → 60.6% と大幅に増加している。3年前から家庭科の食品ロスの単元で学校給食の意義について授業で取り上げている結果と考えられる。また、高校生徒の食堂についての肯定率も、5年前 56.1% → 80.1% と大幅に増加している。料金が据え置きであることが影響していると考えられるが、炭水化物メニューが多い、定食がすぐに売り切れるなど、まだまだ改善の余地もある。</p> <p>中学生徒の図書館の利用は、昨年度から 6.0%減、5年前からは 15.8%減である一方、高校生徒では、昨年度から 2.0%増、5年前からは 3.3%増である。「読書の習慣がある」生徒の減少とリンクしているが、高校3年生の利用が多いのは、大学入試(学校推薦型選抜・総合型選抜)に向けての準備が影響していると考えられる。</p> <p>今回から Classi のアンケート機能を活用することで、生徒・保護者とも大幅に回収率を改善できた。次回以降は中学は生徒・保護者とも 90%以上、高校は 80%以上を目指したい。</p>	肯定評価	中学		高校		生徒	保護者	生徒	保護者		35項目	27項目	35項目	26項目	90%以上	3項目	10項目	3項目	7項目	昨年度から増加	13項目	6項目	12項目	11項目	5年前から増加	22項目	17項目	29項目	19項目
肯定評価	中学		高校																											
	生徒	保護者	生徒	保護者																										
	35項目	27項目	35項目	26項目																										
90%以上	3項目	10項目	3項目	7項目																										
昨年度から増加	13項目	6項目	12項目	11項目																										
5年前から増加	22項目	17項目	29項目	19項目																										

<p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、事件、事故が発生した場合の迅速な対応について、警察、消防との連携、訓練など、安全対策は充分にとられている。(肯定率 79.5%。昨年度より 15.9%増。) 本校では、生徒が自分の興味、関心、適性に応じて進路選択できるように、学部等についての必要な情報を提供したり、大学との交流を行っている。(肯定率 77.5%。昨年度より 10.8%増。) 本校では、人格形成への重要な働きかけとして、生徒に対して各学年に応じた性教育を行っている。(肯定率 69.2%。昨年度より 10.8%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、現在担当しているクラス、生徒の学習到達度にはほぼ満足している。(肯定率 41.0%。昨年度より 17.4%減。) 本校では、服装や頭髪指導を適切に行い、快適な学習環境と規律ある校風の確立に努めている。(肯定率 69.2%。昨年度より 15.2%減。) 	<p>教職員については、41項目中 23項目で前年度より肯定評価が増加した。</p> <p>安全対策の項目、進路に関する情報提供の項目、性教育の項目とも、前年度より肯定評価が増加しているが、過去の大幅ダウンの反動であり、例年の数値に戻った。</p> <p>法令遵守の項目の肯定評価が直近 2年で増加している。教職員の就業時間や休暇についての発信が好意的に受け止められていることの表れであると考えられる。</p> <p>「学習到達度に満足」の項目では、肯定評価が年ごとに上下を繰り返している。この項目の肯定評価が高ければ良い、という単純なものではないにせよ、生徒の予習・復習の項目での肯定評価の減少と重ね合わせると、危機的な状況であると言わざるを得ない。</p> <p>服装・頭髪指導の項目で肯定評価が、5年前 90.7% → 69.2%に大幅ダウンとなった。制定外の服装をした生徒が目立つことによる、教員内での危機感の表れと考えられる。</p>
--	--

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価基準	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率 90%以上 (生徒アンケート)	ア 「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けた。また、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。	ア 中学 肯定率 88.7%で 未達成 。昨年度より 4.8%減。 高校 肯定率 90.0%で 達成 。昨年度より 2.7%減。	これまで以上に「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率 70%以上 (生徒アンケート)	イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	イ 中学 肯定率 52.3%で 未達成 。昨年度より 10.8%減。 高校 肯定率 68.2%で 未達成 。昨年度より 1.9%減。	生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行う。
	(3) 指導力の向上	ア「道徳やH.Rの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。」の肯定率 75%以上 (生徒アンケート)	ア 進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、H.R・総合の時間などで「キャリア・パスポート」に取り組み、将来の進路や生き方について考えさせた。	ア 中学 肯定率 75.1%で 達成 。昨年度より 0.9%減。 高校 肯定率 76.5%で 達成 。昨年度より 1.3%減。	これまでの取り組みを継続するとともに、「キャリア・パスポート」の取り組みをさらに充実させる。また、卒業生の経験談を聞く機会をさらに増やす。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率 80%以上 (教職員アンケート)	ア 年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率 70.5%で 未達成 。昨年度より 4.8%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
	(2) 校則遵守	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率 87.3%で 達成 。昨年度より 1.6%増。 高校 肯定率 80.1%で 未達成 。昨年度より 3.6%減。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面(職員会議など)を通じて全教職員に徹底する。
	(3) いじめの防止	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率 90%以上 (生徒アンケート)	ア 全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率 88.7%で 未達成 。昨年度より 1.1%増。 高校 肯定率 87.8%で 未達成 。昨年度より 1.1%減。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝える機会をさらに増やす。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)	ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率 78.4%で 未達成 。昨年度より 2.8%減。 高校 肯定率 87.0%で 達成 。昨年度より 1.7%増。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる(特に中学1年生)。

<p style="text-align: center;">3 行事・クラブ活動</p>	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上（生徒アンケート）</p> <p>ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上（生徒アンケート）</p>	<p>ア コロナ禍の影響がほぼなくなり、通常通りに行事を実施できた。</p> <p>ア 本校独自の「クラブ活動基準」を守り、できるだけ活動ができるように工夫して取り組んだ。</p>	<p>ア 中学 肯定率 84.4%で未達成。昨年度より 0.7%減。 高校 肯定率 79.9%で未達成。昨年度より 2.2%減。</p> <p>ア 中学 肯定率 80.4%で達成。昨年度より 3.8%減。 高校 肯定率 85.9%で達成。昨年度より 3.0%増。</p>	<p>それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。</p> <p>クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図り、可能な限り活動を保障する。</p>
<p style="text-align: center;">4 施設・設備</p>	<p>(1) 新設備のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上（保護者アンケート）</p> <p>イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 60%以上（中学生アンケート）</p>	<p>ア オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。</p> <p>イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。さらに、中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作った。</p>	<p>ア 中学 肯定率 91.3%で達成。昨年度より 1.2%増。 高校 肯定率 92.8%で達成。昨年度と同数値。</p> <p>イ 中学 肯定率 60.6%で達成。昨年度より 2.4%減。</p>	<p>校内Wi-Fiやタブレットの利用を促す。また、オンラインでの双方向授業が可能な環境を整備する。</p> <p>中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作るなど、今後もこれまでの取り組みを継続していく。</p>